

みなさんこんにちは。新型コロナウイルス対応における臨時休業の中、今年度は3学期終業式ができなくなり、ホームページでの校長メッセージ紹介のみとなります。

とにかく世界、日本が大変な状況になっています。学校における非常事態対応は過去にもありましたが、このような長期にわたる臨時休業、ましてや大事な年度末に様々な教育活動ができなくなることはかつてなかったことです。それだけ、今回の新型コロナウイルス問題は深刻ということです。

しかしながら、この臨時休業中においても皆さんはこの1年間の高校生活のまとめの時期として、家庭学習を中心に新しい年度に向けてしっかりと準備してくれていることと思います。

さて、大変な状況の中、令和最初の年度が終わります。みなさんにとって、4月からの1年間はどのような1年間だったでしょうか。充実した1年だったでしょうか。

人によっては「がんばった」「やるだけやった」という人、また、「全然だめだった」「いまひとつだった」などいろいろあると思います。私はいままでみなさんには絶えず「どんな時も自分を振り返り、いまより少し努力し、前へ進もう」という話をしてきました。

本校は日野町にある地域の高校、また、総合学科としていろんなことが経験できる学校です。特色ある授業を行い、体育祭や文化祭などの行事の盛り上がりもあります。進路や人権、健康、自分の在り方などを考えるいろいろな仕掛けもあります。

私が見る日野高生は素直で、人懐っこく、純粋でやさしい人が多いと思います。学校生活を楽しく送ってくれていると感じます。しかし、あえていうなら少し幼いところもあり、大人になりきれていないこともあります。みなさんそれぞれに悩みや課題を抱えていることとも思います。しかし、高校時代は、将来、みなさんがどんな人生を送り、生きがいとなる仕事や生活を見つけるかを探す大事な時期です。だからこそ、いろんなことを学び経験してほしい。将来に夢に向かって一歩でも進んでほしい。具体的には進学や就職するため今の自分に必要な力をつけてほしいということです。

校長から生徒の皆さんに来年度に向けて行動してほしいことを話します。まず、1つ目は授業を大事にすること、高校生活で最も大事なものは授業です。授業で学んだことが将来につながっています。今学んでいることは将来みなさんが困ったとき、迷ったときにきっと役に立ちます。

2つ目は人の話をしっかり聞くこと。すべてのコミュニケーションのはじまりは人の話を聞くことからです。そこから大事な関係ができてきます。また、SNSの100の言葉より、直接伝える一言のほうが絶対に気持ちが伝わります。

3つ目はあいさつをすること。あいさつは人とのつながりを持ち、そして、人の気持ちを明るくものにします。「おはよう、こんにちは」の声が学校のあちこちから聞こえればきっと日野高校は元気な学校になります。この3つをぜひ実行してください。

今年度も日野高生は行事、部活動などに一生懸命がんばり、いろいろな成果を上げてくれました。地域の日野高に対する期待も高いと思っています。来年度は一歩前へ進めるさらなる努力と取組を期待したいと思います。

さて、また、桜の花が咲き、気持ち新たな新年度が始まります。それぞれ1つ学年を進みます。新2年生はより学校生活が充実するように、新3年生は最高学年として、高校生活の総仕上げができるよう、そして、なにより自らの進路をしっかりと決め、夢実現ができるようにあらたな決意で目標をしっかりと持って実行してほしいと願います。

まだまだ、未知のウィルス対応が続きますが、4月には新入生が入学し、また、先生方も異動もあり、新しい日野高がスタートします。4月8日にまた、元気に全校生がこの場に集まれることを願って令和元年度最後の校長メッセージとします。

令和2年3月24日

校長 藤井 晃一